

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アートチャイルドケアわらび	種別：	保育所
代表者氏名：	小島 まゆみ	定員(利用人数)：	105 (100) 名
所在地：	〒 335-0005 埼玉県蕨市錦町1-17-24	TEL	048-434-6123

③評価実施期間

平成28年10月20日(契約日)～平成29年3月31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○絵本を題材にした行事への取り組みが子どもたちの意欲を育てている

会社の取り組みのナンバーワン宣言で絵本大好きをテーマにした保育を展開している。食育のおむすびづくりでは絵本の「おむすびころりん」から題材を選んだり、夏祭りのブースの看板を「きんぎょがにげた」や「せんたくかあちゃん」の絵本にして親しみやすく工夫したり、作品展の個人作品では絵本の「さるかに」や「ネズミのすもう」などを読んでもらい、それから創造したことをクレヨンや絵の具で表現するなど絵本を活用した活動が多様に展開されている。絵本をレイアウトして職員紹介をしたり、毎月絵本大好きニュースを発行し、クラスで読んだ絵本や季節の絵本、好きな絵本などを紹介し、子どもが絵本に親しくなれるよう保護者に発信している。

○アレルギー食の誤食がないように、きめ細かい取り組みを決めて丁寧に対応している

アレルギー食を提供する場合には医師の指示書を基に実施している。前月末に翌月の献立を基にアレルギー会議を開き、献立表に色を付け保護者に持参してもらい、戻してもらった献立表を園長に再確認してもらっている。持参してもらったお弁当は口頭で受け取りクリップをつけ調理室で保管することになっている。調理室の入り口のボードには当日のアレルギー児の出欠がマグネットで確認できるようになっている。また、調理担当者、除去食確認者、盛り付け者など調理内で確認し、その都度押印することになっている。調理担当者から配膳受け取り者、給食提供者などのクラス担任も押印して給食を受け取るなど複眼で確認をしている。提供されるアレルギー食の食器は別でトレーに載せられ、かけられたラップには子どもの名前が記入されるなど誤配誤食を防ぐ仕組みが何重にもつくられている。

○保護者からの要望などにできるだけ取り組むように配慮し、子育て支援に努めている

保護者から寄せられる意見や要望などを保護者会や運営委員会、日常のコミュニケーションなどから把握して、保育園でできることは可能な限り取り組むように努めている。親子遠足の場所を電車を使っていくところとしたり、子どもたちだけで行くお別れ遠足を取り入れるなど、思い出に残る楽しい保育園での行事につなげている。また、継続的に保護者からの要望のあった自転車置き場への屋根の設置が実現することとなり、雨の日の保護者の送り迎えに大きな手助けとなることが期待される。

◇特にコメントを要する点

○子どもが主体的に遊びを選択できる保育室環境についての学びと環境の工夫などの検討を期待したい

各保育室は床暖房や空気清浄機、加湿器などが設置され、快適な保育室環境が用意されている。日常の保育は戸外に出て身体を動かす保育を大事にしている。子どもたちが過ごす保育室には棚の箱に入れられたおもちゃや絵本などがあり、子どもの視界からは必ずしも見えやすい環境にはなく、保育者の意図があって提供される環境となっている。特に乳児保育では発達上、探索活動が大切とされ、子どもが興味をもった時に手に触れたりできる環境が大事といわれている。保育園保育指針という環境を通して行う保育の大事な要素になるため、主体的に遊ぶことの意味やおもちゃの種類や提供の仕方、保育者の関わり方などの学びを深め、環境設定などのさらなる工夫の検討を期待したい。

○保育園の課題や保育活動への取り組み、職員の目指す保育などを踏まえ、中期計画の策定を検討し、職員の定着・やる気と働きがいの向上に活かされたい

「3カ年経営方針」が明示されており、運営体制の強化、利益水準とのバランスを見ながらの待遇改善、安全・安心を大前提とした高品質なアートチャイルドケアらしい保育と社会貢献が基本戦略として定められている。経営方針を受けて毎年度事業計画が策定され、年度末には事業報告書が取りまとめられ、事業の振り返り・反省などが行われている。また、園長の指導力・統率力や本社担当マネージャーとの連携を活かし、職員の連携・職員間の一体感をさらに促進して、保育園の将来像を見据えた中期計画の策定を検討されたい。本社の「3カ年経営方針」を基に全職員間での協議を行い、抱える課題やより具体的な保育活動の進め方などを考慮し、園舎の室内空間を活かした保育への取り組みやおもちゃの整備、おもちゃの提供の仕方や見せ方、保育に関する情報の伝え方などのさらなる工夫、リーダー層などの人材育成など、具体的な取り組み・達成目標を盛り込んだ検討を期待したい。中期計画の実践が職員各自の保育への思いの実現、やる気と働きがいの向上につながり、さらなる子どもたちの楽しい保育園生活となることが望まれる。

○保育園の持つ子育て機能などを活かして、地域の子育て家庭や居住者との交流・情報交換などを進められたい

地域居住者との情報交換などを活かして地域の子育てニーズを把握し、保育園での取り組みを活かした地域交流事業などへの展開を検討されたい。散歩の際、公園で遊んでいる子育て家庭に向けて絵本の読み聞かせや紙芝居などへの参加を促したり、防災訓練や不審者対応訓練に地域の方々を誘ったり、地域の子育て家庭を対象として保育園での誕生会や身体測定などへの参加を企画し、子育てや健康への相談、離乳食への情報提供など、保育園が持つ機能を活かした取り組みを期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価受審にあたり、ご協力をいただきましてありがとうございました。

高く評価をしていただきました点につきましては、日頃からの保護者様のご理解、ご協力のおかげと心から感謝申し上げます。

課題とされる点につきましても、職員で話し合いながら工夫をして、よりよい保育環境を設定し、保育を提供できるよう努力をしていきたいと考えております。

何よりもお子様が安心して毎日が楽しく伸び伸びと過ごせますよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり